

令和6年度 当初予算(案)の概要



三木市 Miki City

1. 予算規模

- ☆ 一般会計予算は、前年度より35億3千万円増加の390億5千万円で、過去最大
- ☆ 全会計の予算規模は、前年度より約29億7千万円(4.8%)の増加

(単位:千円)

		令和6年度当初予算(案)		令和5年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額(C) (A-B)	増減率 (C/B)
一般会計		39,050,000	39,050,000	35,520,000	35,520,000	3,530,000	9.9%
特別会計	国民健康保険特別会計	8,299,000	8,299,000	8,667,000	8,667,000	△ 368,000	△ 4.2%
	介護保険特別会計	7,847,000	7,847,000	7,532,000	7,532,000	315,000	4.2%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,723,000	1,723,000	1,591,000	1,591,000	132,000	8.3%
	学校給食事業特別会計	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0.0%
企業会計	水道事業会計	2,181,091	2,421,885	2,029,722	2,901,496	△ 479,611	△ 16.5%
	収益的収支	1,886,337	1,783,597	1,934,881	1,818,811	△ 35,214	△ 1.9%
	資本的収支	294,754	638,288	94,841	1,082,685	△ 444,397	△ 41.0%
	下水道事業会計	4,354,024	4,916,222	4,014,793	5,073,628	△ 157,406	△ 3.1%
	収益的収支	2,510,650	2,468,410	2,476,427	2,437,467	30,943	1.3%
	資本的収支	1,843,374	2,447,812	1,538,366	2,636,161	△ 188,349	△ 7.1%
合 計		63,754,115	64,557,107	59,654,515	61,585,124	2,971,983	4.8%

2. 一般会計予算の特徴

～ 次代への進化、そして未来へ ～

時代の変化に応じ、三木市を進化させ、未来へとつないでいく取組として、第一に未来を担う子どもたちのため、教育のまちの推進に向けた取組を進めていきます。加えて、本市が持つ優れた地域資源(三木ブランド)の魅力を向上させ、未来へ継承するための取組、移住・定住を促進し、未来に向け人口減少を緩やかにするための取組、将来にわたり市民が安心して暮らせるまちづくりの取組、そして最後に、将来にわたり持続可能な行政運営の基盤づくりの取組を進めていきます。

市制施行70周年記念

- 市制施行70周年記念式典を開催
【関連事業】
 - ・まつり屋台大集合
 - ・特別企画展 上田桑鳩展(仮称)
 - ・タイムカプセル郵便
 - ・市史編さん10周年記念展及びシンポジウム
 - ・市内各地区における市制施行70周年とタイアップした事業の開催支援

教育のまちの推進

- 部活動の地域移行を見据え、ゴルフ部創設に向けた取組
- 教職員研修の充実
- 統合型校務支援システムの導入
- 学校給食費の改定による増額分の支援で保護者負担を軽減
- 小中一貫教育の推進

三木ブランドの魅力向上

- 山田錦の郷の整備を推進
- 三木金物ブランド戦略の推進
- ゴルフを核にしたまちづくりの推進
- 2025大阪・関西万博を契機とした三木ブランドの発信・強化

移住・定住の促進

- トカイナカ三木新生活応援事業
- 移住支援ポータルサイトの開設
- 青山7丁目団地再耕プロジェクトの推進

安心して暮らせるまちづくり

- 高校生等の通院医療費を無償化
- みっきい☆シニア健康サポート事業
- 健康チャレンジプログラム
- 市内10地区の公民館にWi-Fi環境を整備
- 吉川分署の移転・建替え
- 防犯機能付き電話機等の購入を支援(継続)(3月補正)

持続可能な行政運営

- 三木市総合計画の後期基本計画を策定
- 中央公民館等複合施設の整備に向けて基本計画を策定
- ふるさと納税の更なる推進

3. 一般会計予算（目的別）

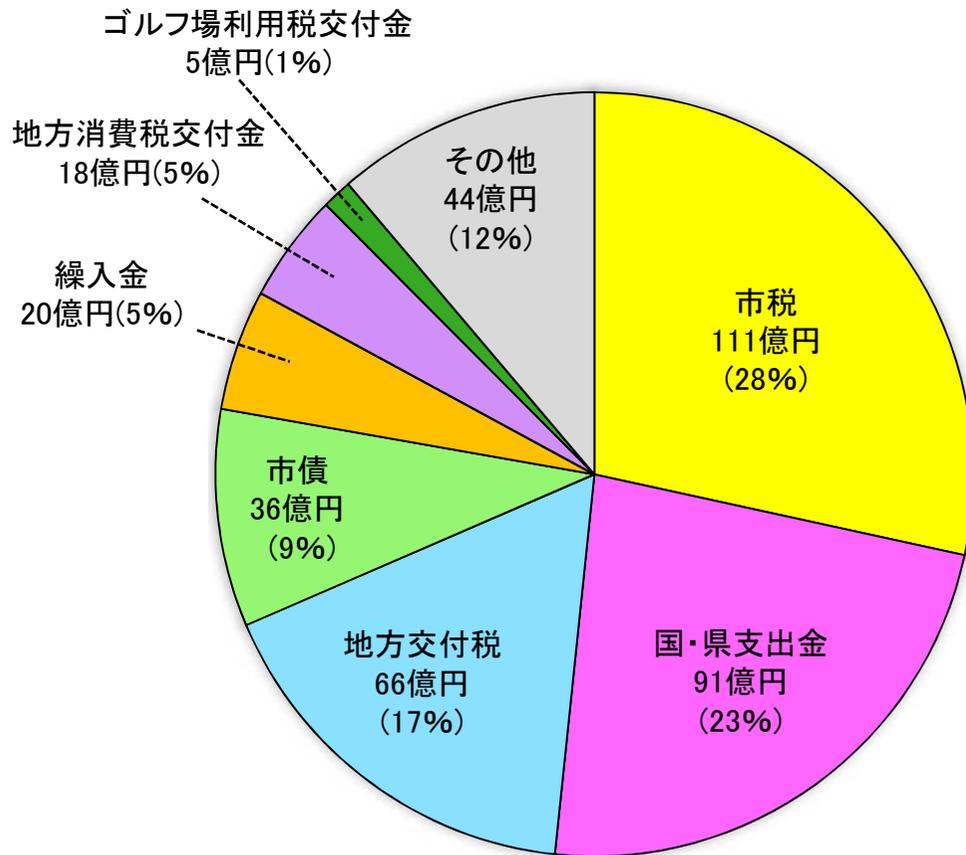
- ☆ 総務費(57.1億円)は、青山7丁目における交流拠点施設の整備や国の標準仕様に合わせる住民情報システムの改修などで、前年度比12.3億円(27.5%)増
- ☆ 民生費(141.0億円)は、定額減税補足給付金の実施や児童手当の拡充などで、前年度比12.1億円(9.4%)増
- ☆ 消防費(15.9億円)は、吉川分署の建替えやはしご付消防車の点検整備などで、前年度比4.5億円(39.1%)増

目的	令和6年度 当初予算(案)	令和5年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総務費	57.1億円	44.8億円	12.3億円	27.5%	青山7丁目団地再耕プロジェクトや住民情報システムの標準化に係る費用などの増
民生費	141.0億円	128.9億円	12.1億円	9.4%	定額減税補足給付金や児童手当の拡充などの増
衛生費	25.1億円	28.2億円	△ 3.1億円	△ 11.0%	新型コロナワクチンの予防接種に係る費用などの減
農林業費	8.2億円	8.0億円	0.2億円	1.9%	
商工費	16.1億円	12.0億円	4.1億円	34.3%	山田錦の館の改修工事費などの増
土木費	24.2億円	22.5億円	1.7億円	7.7%	道の駅よかわの整備工事や地理情報システムの導入などの増
消防費	15.9億円	11.4億円	4.5億円	39.1%	吉川分署の建替えやはしご付消防車の点検整備などの増
教育費	34.4億円	31.2億円	3.2億円	10.2%	学校施設の改修や公民館のLED化、Wi-Fi環境整備などの増
公債費	46.1億円	46.3億円	△ 0.2億円	△ 0.5%	市債償還金の減
諸支出金	18.1億円	17.6億円	0.5億円	2.7%	下水道事業会計への操出金の増など
その他	4.3億円	4.3億円	0億円	0.0%	
合計	390.5億円	355.2億円	35.3億円	9.9%	

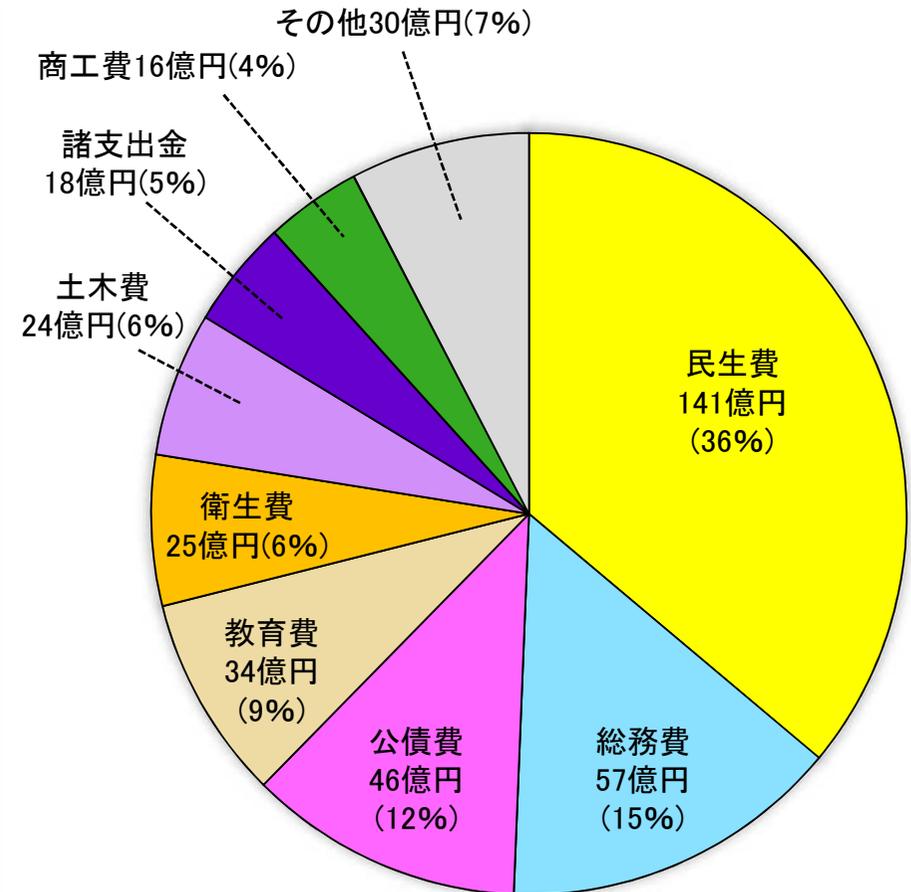
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算 (内訳)

歳入(約391億円)



歳出(約391億円)



5. 特別会計

国民健康保険

82億9,900万円（前年度比 Δ 3億6,800万円、 Δ 4.2%）

- ☆ 県が示す標準保険税率と同水準となるよう、市の保険税率を見直し
- ☆ 特定健診の受診率向上につなげるため、特定健診受診者へ健診結果に基づく「健康年齢」を通知

介護保険

78億4,700万円（前年度比 +3億1,500万円、+4.2%）

- ☆ 第9期介護保険事業計画（R6年度から3年間）の初年度で、介護保険料の基準月額を5,300円に引き上げるものの、県内29市で最安レベル
- ☆ リハビリテーションなどの専門職によるフレイル予防等に特化した短期プログラム（シニアいきいきコース）を開催

後期高齢者医療事業

17億2,300万円（前年度比 +1億3,200万円、+8.3%）

- ☆ 2年ごとの見直しによる保険料率の引き上げ
- ☆ 75歳以上の被保険者数の増加により歳入・歳出ともに増

学校給食事業

3億円（前年度と同額）

- ☆ 子育て世帯の負担を軽減するため、令和6年度に改定する給食費の増額分を市が支援し、実質的に改定前の金額に据え置き

特別会計予算総額

令和6年度	令和5年度	対前年度	
		増減額	増減比
181.7億円	180.9億円	0.8億円	0.4%

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

24億2,188万円 (前年度比 Δ 4億7,961万円、 Δ 16.5%)

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ 自由が丘配水場の改修(債務負担行為2年目)
- ◆ 配水池ポンプ場等の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道の受水

下水道事業

49億1,622万円 (前年度比 Δ 1億5,740万円、 Δ 3.1%)

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化
- ◆ 新たな管理運営方式の導入準備
(ウォーターPPP等)
- ◆ 農業集落排水施設の統廃合による広域化
- ◆ 内水浸水想定区域図作成
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金

企業会計予算総額

令和6年度	令和5年度	対前年度	
		増減額	増減比
73.4億円	79.7億円	Δ 6.3億円	Δ 8.0%